

研究社 日本語複合動詞活用辞典

KENKYUSHA'S DICTIONARY OF JAPANESE COMPOUND VERBS

8月下旬
刊行予定

姫野昌子〔監修〕

柏崎雅世・田山のり子〔編集代表〕

四六判 ビニール装 函入 1456頁／定価 9,900円(本体 9,000円+税10%)

ISBN 978-4-7674-5024-7 C0581

豊富な例文で解き明かす 日本語「複合動詞」の諸相

本邦初の本格辞典!

日本語の「複合動詞」とは、2つの動詞が結合することで新たな意味や用法を持つ動詞です。本辞典は、日本語学習者が特につまづきやすい複合動詞3547語を取り上げました。例文を数多く用いて、複合動詞の多彩な意味をコロケーションとともに丁寧に分析しています。付録として複合動詞の構造を概説する「後項動詞解説」、後ろの動詞から検索できる「後項動詞索引」などを収録しました。日本語教育の現場で便利に使える、これまでになかった辞典です。

研究社 日本語複合動詞活用辞典

KENKYUSHA'S DICTIONARY OF
JAPANESE COMPOUND VERBS

監修 姫野昌子
編集代表 柏崎雅世 田山のり子

2つの動詞が結合し、新たな意味や用法を持つ日本語の〈複合動詞〉。外国人学習者には難解とされるその複雑な諸相やコロケーションを豊富な例文を用いて解き明かす。

研究社

監修者紹介

姫野昌子
(ひめの まさこ)

東京外国語大学名誉教授。『新版 複合動詞の構造と意味用法』(研究社)、『ここからはじまる日本語教育』(共著、ひつじ書房)、『日本語中級からのスキルバランスワークブック』(放送大学教育振興会)、『一年で社説が読めた——東京外国語大学付属日本語学校の365日』(共著、研究社)、『研究社 日本語コロケーション辞典』(監修・執筆、研究社)、『コロケーションが身につく日本語表現練習帳』(監修、研究社)、ほか。

好評既刊

研究社 日本語口語表現辞典[第2版]

- 山根智恵〔監修〕
- 佐藤友子・奥村圭子〔編集委員〕

四六判 ビニール装 函入 1224頁
定価5,940円(本体5,400円+税10%)
ISBN 978-4-7674-5022-3 C0581

国語辞典ではわかりにくい、日常の〈話し言葉〉や〈慣用語〉を理解して使いこなすための辞典。



研究社 日本語コロケーション辞典

- 姫野昌子〔監修〕
- 柏崎雅世・藤村知子・鈴木智美〔編集委員〕

四六判 ビニール装 函入 1304頁
定価6,160円(本体5,600円+税10%)
ISBN 978-4-7674-9110-3 C0581

日本語の正しいコロケーション(語と語の慣用的な結びつき)が、生きた例文とともに分かる。



注文欄

研究社 日本語複合動詞活用辞典

定価9,900円(本体9,000円+税10%) ISBN 978-4-7674-5024-7 C0581

8月下旬刊行予定

研究社 日本語口語表現辞典[第2版]

定価5,940円(本体5,400円+税10%) ISBN 978-4-7674-5022-3 C0581

研究社 日本語コロケーション辞典

定価6,160円(本体5,600円+税10%) ISBN 978-4-7674-9110-3 C0581

お名前

TEL.

ご住所 〒

FAX

申込数

書店名(印)

冊

申込数

冊

申込数

冊

23.06

《研究社刊》

研究社

〒102-8152 東京都千代田区富士見2-11-3 TEL. 03-3288-7777 FAX 03-3288-7799

<https://www.kenkyusha.co.jp>

豊富な例文で解き明かす
日本語「複合動詞」の諸相

- ・「動詞+動詞」の語構成で見出し語(3547語)のイメージが分かる。
- ・コロケーション(語と語のつながり)を格助詞ごとに分かりやすくまとめた。
- ・結合しやすい修飾語句のコロケーションを意味分類ごとに提示した。
- ・時事的な内容や口語表現も取り入れた多彩な例文を収録した。
- ・対応する「複合名詞」(「受け付ける」→「受付」など)を提示した。

あゆみよる【歩み寄る】【歩む+寄る】 ①(相手、そば、傍ら、入口、ドア、窓際、机、カウンター、前、車、[観客・運転]席)に歩み寄る(=歩いて近づく) ②(両者、双方、両国、関係諸国、[当事者・隣人]同士、労働者と使用者、与野党)が歩み寄る(=合意のため、双方が互いに譲る) ③(一方が他方、片方が相手、こちらが向こう、野党が与党、経営者が労働組合)に歩み寄る(=合意のため、片方が相手に譲る) ④(つかつかと、ゆっくり、互いに、足早に) ⑤(互いに、胸襟を開いて) ⑥⑦(少しずつ、最終的に)歩み寄る

〔例文〕 ① 会談を終えた両首脳は互いに歩み寄り、記念写真に取まった／選挙演説を終えた候補者は、聴衆のそばに歩み寄って握手を交わした／歌手はアンコールに応え、マイクの前に歩み寄って歌い出した／選手たちは足早に観客席に歩み寄り、手を振って声援に応えた／検問所では警官が運転席に歩み寄り、免許証の提示を求めている ② 外交交渉では、最終的に両国が歩み寄った形になった／第三国の仲介で戦争の当事国が互いに歩み寄り、停戦に合意した ③ 野党が与党に歩み寄ろうとしなかったため、重要法案が成立しなかった／労働組合の粘り強い交渉は互いに経営者を歩み寄せ、労働条件が改善された

名詞形 歩み寄り 歩み寄りをする

補足 名詞形は、②③の意味で使う

〔例文〕 懸案の貿易折衝では、両国の歩み寄りが期待される／和平に向けての歩み寄りが進展しなければ、内戦は続くだろう／複数の政党が連立を組むには、基本政策の歩み寄りが不可欠だ／従業員の賃上げ要求に対し、経営側は全く歩み寄りを見せない／企業合併は互いに歩み寄りをしなければ、成立しない

まきかえす【巻き返す】【巻く+返す】 ①(巻物、^{マキモノ}文、カレンダー、巻き尺、袖)を巻き返す(=巻いてある物を一旦広げた後、巻いて元に戻す。巻いてある物を反対の方向に*巻き直す) ②(勢い、勢力、業績、出遅れ、失敗、劣勢、不利な[形勢・情勢])を巻き返す(=劣勢の状態から勢いを回復して反撃する) ③(とっさに) ④(すぐさま、何とか、じりじりと、徐々に、一気に、一挙に、必死に、確実に、猛烈に、後半で、終盤で、土壇場で)巻き返す

〔例文〕 ① 奥方は、夫からの文を読み終えると丁寧に巻き返し、文箱に取めた／巻いてあったカレンダーを裏側に巻き返して、平らに直した／能楽師は、時折、袖を上巻き返す所作をする ② 昨年度はライバル社にシェアを奪われたが、今年度は一気に巻き返したい／与党は地方選での大敗を受け、巻き返すべく策を練っている／F1では前半出遅れていた車がじりじりと巻き返し、最終日には首位に躍り出た／首位のチームとの差は5ゲーム以上あるが、まだ巻き返すチャンスはある／監督は劣勢を巻き返そうとして思い切った作戦に出た／後半戦で巻き返せない予選リーグ退場が決まる／昨日の試合では終盤で立て続けにゴールが決まり、何とか巻き返した

名詞形 巻き返し

〔例文〕 台風の通過後に起きる吹き返しの強風は、「巻き返しの風」とも呼ばれる／今回の選挙では野党が一挙に議席数を伸ばし、巻き返しに転じた／チーム一丸となり、リーグ最下位からの巻き返しを狙う／有名百貨店は業績悪化を受け、巻き返しを図るためネット販売を強化した／社会主義勢力が力を増したため、与党は巻き返し政策を検討した

はなしあう【話し合う】【話す+合う】 ①(相手)と(近況、出来事、将来の夢)を話し合う(=ある話題についてともに話す) ②(相手)と(問題点、対策、[解決・善後]策、法案、[具体・修正]案、計画、経費削減、養育費、必要性、進路、今後、生活設計、教育、事故処理、賃上げ、遺産分割、紛争解決、停戦、離婚)を／について話し合う(=問題解決のため、互いに意見を出して相談する) ③(ざくざくばらんに) ④(再三再四、とことん、しつかり、じっくり、きちんと、冷静に、率直に、虚心坦懐に、徹底的に、腰を据えて、腹を割って、胸襟を開いて、正面切って、納得するまで)話し合う

〔例文〕 ① 家族で食卓を囲み、その日にあった事を話し合う／カップルが親しげに小声で何やら話し合っている／親友とあれこれ夢中で話し合っていたら、夜になっていた ② サミットでは、各国首脳が地球温暖化対策を話し合う予定だ／皆で胸襟を開いて話し合えば、解決策が見つかるはずだ／法案について与野党の代表が何度も話し合い、修正案を提出した／社内の経費削減について、各担当で話し合っただ案を出す／離婚調停では、子供の養育費についても話し合われた／卒業後の進路をめぐる、両親と腰を据えて話し合った／今後の生活設計について、夫婦でじっくり話し合った上で決める／毎晩帰宅が遅い夫とは子供の教育についてゆっくり話し合う暇もない／遺産分割は、相続人全員が集まって話し合わなければならない／会議は激しい言葉の応酬に終始し、冷静に話し合える雰囲気ではなかった／人の意見を聞こうとしない君とはこれ以上話し合っても無駄だ／まあ落ち着いて話し合おうじゃないか

名詞形 話し合い 話し合いをする

補足 名詞形は、②の意味のみを使う。公用文では「話し合い」と送り仮名が省略される

〔例文〕 賃上げをめぐる労使間の話し合いは、物別れに終わった／相手国は、停戦に向けた話し合いに応じる構えだ／交渉は難航しているが、まだ話し合いの余地は残っている／夫婦間の話し合いが付き、協議離婚が成立した／取締役会では、今後の事業計画に関し、具体的な話し合いをする予定だ

後ろの動詞ごとに語の構造を読み解く「後項動詞解説」を付けた。

I 上昇に関する複合動詞類

1. 「～あがる」

「あがる」の基本的意味は下方から上方への移動で、後項動詞として働く時の意味用は、前項動詞の特徴によって5分類になる。

【1】上昇

(1-1) 全体的上昇(全体的な位置変化)

「～あがる」の複合動詞			
意味特徴	構成と例		自動詞か他動詞か
【1】 上 昇	場所[から] 場所	へ に まで に向かって をめざして をめぐって [を]	～あがる
	経過の場所	へ に を	～あがる
【2】 完 了 完 成	ふもとから頂上 地面 から空 空中	へ に向かって を	駆けあがる 伸びあがる 飛びあがる
	産物 料理	[が] が	～あがる できあがる
【3】 強 調	人 観客	[が] が	～あがる 震えあがる
【4】 増 長	相 相手	[が] が	～あがる つけあがる
【5】 尊敬語	目上の方 尊敬語	[が] 飲食物[を]召しあがる	他+あがる＝他

後ろの動詞から引くことができる便利な「後項動詞索引」を付けた。

～あがる 上がる

あみあがる(編み上がる)
あらいあがる(洗ひ上がる)
いりあがる(煎り上がる・炒り上がる)
うかびあがる(浮かび上がる)
うきあがる(浮き上がる)
うちあがる(打ち上がる)
えがきあがる(描き上がる)
おきあがる(起き上がる)
おどりあがる(踊り上がる)

～あげる 上げる・掲げる・挙げる

あみあげる(編み上げる)
あらいあげる(洗ひ上げる)
いりあげる(煎り上げる・炒り上げる)
いれあげる(入れ掲げる)
うたいあげる(歌い上げる・謳い上げる)
うちあげる(打ち上げる)
うりあげる(売り上げる)